

日 時：10月12日(日) 14:15~17:40  
会 場：第9会場 山形ビッグウイング 4F 中会議室

主 催：薬学生シンポジウム実行委員会  
共 催：一般社団法人日本薬学生連盟 (APS-Japan)  
公益社団法人日本薬剤師会  
一般社団法人山形県薬剤師会



## あなたにとって地域連携とは？ ～学生ができること・学生だからこそできること～

2025年、団塊の世代が75歳以上を迎えるに伴って、急激に少子高齢化が進み、今世界史上、類を見ない超高齢化社会となると予想されています。今後は、医療が地域に移る必要があり、患者の生活を考えたときに、「住まい」「生活支援」「介護」「医療」「予防」を中心とした地域の連携が求められています。

その中で、薬局の立ち位置はどのようなものなのでしょうか。

現場の薬局で地域連携に勤しむ薬剤師にご講演頂き、グループディスカッションを通して、学生ができること・学生だからこそできることを考えていきましょう。

14:15～ 挨拶・日本薬学生連盟紹介 (15分)	17:00～ まとめ・シェア・宣言 (30分)
14:30～ 講演 (50分)	17:30～ 総括 (5分)
15:20～ SGD趣旨説明・SGD (70分)	17:35 写真撮影 (10分)
30～ 発表・質疑応答 (30分)	

## 基調講演者ご略歴



あかね薬局 管理薬剤師

しのだ たろう  
篠田 太郎

### 【略歴】

2004年 明治薬科大学卒業  
2004年 株式会社ファーコス入社  
山形県酒田市 あきほ薬局に勤務  
2007年 山形県鶴岡市 あかね薬局の管理薬剤師として勤務  
2008年 2011年3月まで緩和ケア普及の地域介入プロジェクト：OPTIMが鶴岡地区で行われ、これを契機に地区薬剤師会の代表として多職種のネットワークづくりを開始。  
2011年3月にプロジェクト終了後も、多職種のコアメンバーで構成される組織は『南庄内緩和ケア協議会』として存続しており、ここでも薬剤師会の代表として参加し、鶴岡の地域包括ケアシステム構築のために多職種のネットワークづくりを進めています。

### 薬剤師会の担当業務

2012年6月から現在 山形県薬剤師会  
在宅医療介護保険委員会 委員長  
2013年4月から現在 山形県鶴岡地区薬剤師会  
在宅医療推進部会 部会長

### あかね薬局の業務

外来患者の処方箋調剤・服薬指導の他、在宅訪問服薬指導を10名前後に実施。在宅医療・多職種連携における薬局薬剤師の役割について、成功事例を出すことで地域の他職種の認識を変えてきました。